

ホーム開幕2連勝！ オービックシーガルズ

日本社会人アメリカンフットボールXリーグが開幕し、オービックシーガルズのホームゲームが9月10日と24日、第一カッターフィールドで開かれた。

ホームで開催されたXリーグ「習志野デー」と



QBタイラー・クルカ選手からのパスを受け、エンドゾーンに向かって走るRB李選手(ノジマ相模原ライズ戦第4Q)



習志野高校吹奏楽部のハイタイムショー

Superレギュラーシーズン初戦は電通キャタピラーズに38-3で勝利。第2節の対ノジマ相模原ライズ戦は24-6で快勝した。

両日は「習志野デー」と「習志野デー」と

銘打たれ、会場周辺では習志野ソーセージのPRやフットボールの体験会も行われた。ハイタイムには、習志野高校吹奏楽部がマーチング演奏を披露し、大勢の観客を楽しませた。

開幕前には、並河研株式会社OFC代表取締役兼オービックシーガルズ代表、大野洋ヘッドコーチ、李卓主将、渡邊シヤマル選手らが市役所を訪問。大野ヘッドコーチは「選手主体でもう一度、強いシーガルズを取り戻そうと取り組んできました。一戦、一戦積み上げ、より筋肉質のチームになって日本一奪還を目指す」と抱負を語った。

第3節のアサヒ飲料クラブチャレンジャーズ戦は35-16、第4節の東京ガスクリエーターズ戦は24-0とともに勝利した。(10月30日現在)

習志野高校の高橋叶選手優勝 全国高等学校総合体育大会 柔道競技



インターハイの男子73kg級優勝を果たした高橋選手(左から3人目)

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)で優勝した習志野高校柔道部の高橋叶選手が大崎栄貴校長、稲葉史朗顧問らと9月22日、習志野市役所に宮本市長を訪れた。

柔道競技は8月に北海道で開かれ、高橋選手は男子73kg級に出場。準決勝戦では、インターハイ3連覇を

狙う東海大学付属相模高校の木原豊登選手を破るなど活躍し、優勝を果たした。

高橋選手は「応援をいただきありがとうございます。高校で日本一を達成する最後のチャンスだったため、最大限の努力と準備をして臨みました。木原選手とは厳しい戦いでしたが、一本勝ちを収めることができました。今後、今度も応援よろしくお願いします」と挨拶した。将来は世界一が目標。11月4日と5日には講道館杯全日本柔道体重別選手権に挑む。

宮本市長は「高橋選手の努力と活躍で、習志野の名前を広く全国に知らしめることができました。まさに市民の誇りです。おめでとうございます」と祝福した。

東邦高校・岡留選手 インターハイ平泳ぎ優勝



世界シニア大会優勝の真鍋さん(左)と阿山さん

東邦高校3年の岡留大和選手が8月に開かれた全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の水泳競技の男子100m平泳ぎで優勝を果たした。また、9月のイスラエルでの世界ジュニア選手権の男子平泳ぎ50mで5位、100mで2位、200mで7位となった。

真鍋さんは全日本シニアバドミントン選手権大会のバドミントン選手権大会の70歳以上女子ダブルスで優勝し、9月11日から17日まで韓国の全州市で開かれた「第11回世界シニアバドミントン選手権」に出場。浅越治子さんとペアを組み、決勝戦まで勝ち上がり、英国のペアを破り、世界一を果たした。

阿山さんは75歳以上女子ダブルスで矢野節子さんとのペアで出場。リーグ戦の結果、3位となった。

また、Shot'04の若林美衣さんは9月に開かれた日本スポーツマスターズ2023福井大会のバドミントン競技に千葉県女子チームの50歳代表選手として出場。競技は50歳、55歳、60歳の団体戦、ダブルスで行われた。千葉県チームは決勝トーナメントで栃木県、神奈川県を破り、福島県との決勝戦に臨み、2-1で勝利した。千葉県女子の優勝は14年ぶり。

(資料・写真提供:Shot'04)

子育て世代応援セミナー

ホーリネス幼稚園が開催

ホーリネス幼稚園の子育て世代応援セミナー「ほめ育て&マネーセミナー」が9月12日に開かれた。

セミナーは未就園児と在園児の保護者を対象に、教育に必要な「お金の話」と「ほめ育て」について学ぶ機会として設けられた。学校法人あづま学園ホーリネス幼稚園が主催し、習志野市内の郵便局と株式会社ゆうちょ銀行習志野店、株式会社かんぽ生命保険船橋支店が協力した。

開催に当たり東裕樹副園長は「コロナ禍もあり、コ

뮤니ケーション不足で気軽に相談できる機会が減ったのではないのかと思いつつ、SNSなどに子育て情報ばかりはたくさんありますが、報はたくさんあります。どの情報が正確な情報か難しい。子育てが少しでも楽しく、友達同士では話しかけたい」と挨拶した。

第1部は「聞いておきたい我が子の為の『お金の話』」をテーマに、かんぽ生命とゆうちょ銀行の相談担当者が講師となった。かんぽ生命の担当者は、児童手当など子どもを支える



「ほめ育て」の講演

様々な制度や教育資金はどれくらいかかるのかについて解説。将来に向かってコツコツと備える、奨学金や教育ローンを利用するといった選択のほかに、契約者に万が一のことがあった時には払い込みの必要がない学資保険を無理のない範囲で積み立てるといった提案を行った。ゆうちょ銀行の担当者は、ライフプランの中でお金の価値が変わっていく経済環境下で、教育資金や老後資金として積立投資の「NISA」を勧め、来年からの新しいNISA制度について説明した。市内郵便局では「お金に関する相談」を度毎に実施しており、「お気軽にご相談い

ただきたい」と来局を呼びかけた。

第2部は「ほめ育てアドバイザー」「問いかけ型教育スペシャリスト」としても活躍しているタレントのはねだえりか(羽田恵理香)さんが「ママの子育てストレス軽減『ほめ育て』」の演題で講演した。はねださんは「アドバイザーのメンバーとしてデビューし、子育てを経験。一人でも多くのママさんと子どものためにサポートしていきたい」という思いから、「ほめ育て」などのテーマでオンラインセミナーを中心に現在活動している。

はねださんは「ほめ育て」とは、ほめるだけ、叱らない子育てではなく、「自分で前に進める子どもに育てる子育て方法」という。ほめ育ては、ありのままの自分を受け入れてくれる「自己肯定感」を高め、自分を大切に存在だと思え



指導する顧問の先生



中学野球の魅力伝えたい
第3回小中野球交流会

第3回習志野市小中野球交流会が8月27日、第一カッター球場で開かれた。小学生球児たちが中学校でも野球を続け、さらに技術レベルの向上を図ってほしいと、習志野市中学校体育連盟野球専門部と習志野市少年野球連盟によって催されている。中学校野球部の監督・コーチが小学生6年生を指導し、中学生も協力した。

開催に当たり野球専門部の内山幸一専門部長は「多くの選手が集まってくれてうれしく思っています。中学野球で活躍できたらと願っている選手もたくさんいます。中学の指導者も魅力を感じたい」と挨拶した。

ウォーミングアップの後には、ポジションごとに守備と打撃の指導が行われた。内野手には「正しく投げることが身体に余分な負担をかけない」ことが伝えられ、ボールの握り方、肘(ひじ)と腕の回り方などが教えられる。捕手たちは変化球の捕球でのレクチャーを受けた。打撃の指導では

第二中学校顧問の齋藤二郎先生は「目をキラキラさせて参加する様子をたのしく思います。習志野市選抜チームは関東大会に出場し、今夏の高3の年代はこの選抜チーム出身者が5人甲子園に行きました。みなさんが上手くなるように練習するきっかけになればありがたい」と呼びかけた。